

### Q 学習机の木製化は A 3年で全校に導入



古畑 富省 議員

問 児童生徒の学習机導入の実態はどうか。

教育次長 三岳小中学校、開田小学校で使用している。

問 20年度で木製学習机、椅子を導入したいとしているがその内訳はどうか。  
教育次長 試作を含んで少

人数学級が木製化できる程度を考えている。

問 試作の方法はどうか。

教育次長 地元の材料を使用し、地元業者で木曾町独自のものをと考えている。

問 すべての児童生徒の机椅子が木製となる時期はいつか。

町長 地元の林業、木材産業の育成を考え、地元産の木材を使用し、次年度以降合併特例交付金を利用しながら3ヶ年計画で全校に導入する予定である。

### Q 今後の観光戦略は A 受け入れ体制整備



上垣外 修 議員

問 運行前にもかかわらず「こんべえ号」に関心が高まっているが。

企画調整課長 停留所の増設等は今後の状況を見守りたい。二次アクセスとして

の木曾福島駅での乗り継ぎは重要である。  
問 スンキ・赤カブが「味の箱舟」に認定されたが、

地元産品を使った新しい「木曾の味」の開発は。

観光商工課長 独自の郷土料理の開発を進めたい。

町長 東京農大から産学共同事業を提案されているので話を進めたい。

問 外国人観光客を呼ぶ「インバウンド事業」への取り組みは。

観光商工課長 台湾からの誘客を図ったり商談会で木曾町をPRしている。  
町長 先程フランスで研修して来たが、受け入れ体制

### Q 交通システムの見直しは A 町民の声を聞き検討

問 20年度で料金などを見直すとしているが、その内容はどうか。

企画調整課長 運賃・運行路線ダイヤ・利用促進の3

分科会で、地域、住民、利用者を変えての検討を考えている。

問 バス停を雨風が防げる施設にできないか。

問 トンネル開通後の木曾伊那両地域の観光客及び買物客の動向は。

観光商工課長 観光面では双方で100%を越えている。

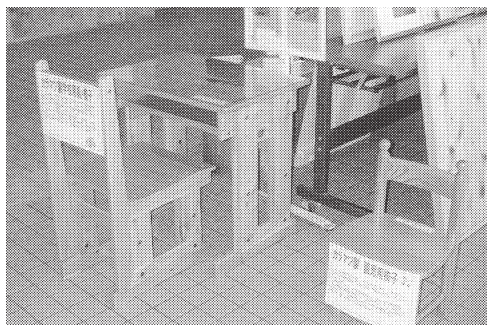
伊那への買物客は衣料品や電気製品を中心に増えている。

問 事故増やストロー現象によるマイナス面は現れているか。

観光商工課長 事故等の多発はないが、ランプ橋周辺の騒音が指摘されている。一方では伊那のスキー場

に影響が現れている。

カラマツ製の机



の整備が必要だと感じた。

### Q トンネル効果の検証 A 観光面では相乗効果

問 トンネル開通後の木曾伊那両地域の観光客及び買物客の動向は。

観光商工課長 観光面では双方で100%を越えている。

伊那への買物客は衣料品や電気製品を中心に増えている。

問 事故増やストロー現象によるマイナス面は現れているか。

